日本近世都市空間の検討課題

【1.授業の概要】

都市は歴史地理学にとって重要な研究対象の一つである。しかし、都市とは本来近代的な概念であり、前近代にさかのぼってこれを用いることは、近代の都市像を前近代に重ねて理解することになり、幾つかの問題が生じてくる。

この授業では都市と呼ばれてきたものを一つの空間(地域）単位として歴史空間の多様なとらえ方、また近代の概念を遡及的に用いることによって生じる問題点を理解し、時代状況に適った「都市」のあり方を考えていく。

【2.授業の目的・ねらい】

１．歴史地理学における日本近世都市研究の成果を修得する。

　　　Ａ．近世京都の空間構成に関する研究成果

　　　Ｂ．近世城下町の空間構成に関する研究成果

２．歴史地理学における日本近世都市研究の基本的課題を理解する。

近代の都市像を前近代に重ねて理解することから生じる問題点

　　　Ａ．①歴史的現在における都市空間把握の多様性

②近代以降の二項対立的な都市・村落関係による空間理解の難しさ

　　　Ｂ．歴史的に変化する都市・村落関係

３．＜空間／時間＞という視角から歴史的事象をとらえる力を養う。

【3.授業で使用するレジュメ・資料の配布】

各自が教員ホームページからレジュメ・資料をダウンロード、印刷して事前に準備すること。

佛教大学総合案内 → 【学部】歴史学部歴史文化学科 → 教員紹介「渡邊秀一」 → ホームページ →

地理学特講1

* 各回のレジュメ・資料はＡ4サイズ。ただし、Ａ3サイズの資料は教室配布。

【4.各回授業の事前・事後の学習】

* + 事前学習：各回の授業レジュメに2～3の学習課題を掲載。1つ以上の課題について事前に学習し、要点をまとめておくこと。
	+ 事後学習：各回の授業内容について、問題から結論に至る要点をまとめておくこと。

【5.各回の授業テーマと全体構成】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 回 | 月日 | 授業テーマ | 授業の全体構成 |
| 1 | 4月10日 | 授業の目的と授業スケジュール |  |  |
| 2 | 4月17日 | 京と洛中・洛外 | 都市の「内・外」という空間関係 |  　事例①公的な、客観的空間 |
| 3 | 4月24日 | 下賜銀からみた近世京都の空間構成 | 　　　　　 事例② |
| 4 | 5月8日 | 大仏組の成立 | 空間把握の変化① |
| 5 | 5月15日 | 洛中碑からみた洛中洛外 | 　　　　　 事例③ |
| 6 | 5月22日 | 刊行絵図からみた洛中洛外 | 空間把握の変化②主観的空間 |
| 7 | 5月29日 | 平安城という地域意識 | 　　　　　 空間の主観的意味 |
| 8 | 6月5日 | 歴史空間の多様性（確認テスト） |  |
| 9 | 6月12日 | 町立てと村寄せ | 近世城下町内の町・村落関係 | 　　　　　 城下町人地の形成町の空間構成 |
| 10 | 6月19日 | 越前大野城下の空間構成 | 　　　　　 城下の基本的構成 |
| 11 | 6月26日 | 大野城下「渡し地浮地絵図」の記載内容 | 　　　　　 町絵図と村絵図「村」からみた「町」空間 |
| 12 | 7月3日 | 渡し地・浮地の意味とその分布 | 　　　　　 耕作地と屋敷地 |
| 13 | 7月10日 | 有租地と越前大野の武家地 | 　　　　　 武家地の空間構成 |
| 14 | 7月17日 | 越前大野城下の空間的特質 | 　　　　　 ＜町／村＞空間 |
| 15 | 7月24日 | 近世の町と村（確認テスト） |  |

【6.参考文献】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者・編者 | 刊行年 | 文献名など |
| ① | 千葉正樹 | 2001 | （専）『江戸名所図絵の世界　近世巨大都市の自画像』，吉川弘文館． |
| ② | 高橋康夫ほか | 1989 | （概）『日本都市史入門Ⅰ　空間』,東京大学出版会． |
| ③ | 五味文彦編 | 1992 | （専）『都市の中世』,吉川弘文館．  |
| ④ | 高橋康夫ほか | 1990 | （概）『日本都市史入門Ⅱ　町』,東京大学出版会． |
| ⑤ | 足利健亮 | 1984 | （専）『中近世都市の歴史地理―町・筋・辻子をめぐって』地人書房 |
| ⑥ | 高橋康夫ほか | 1993 | （概）『図集　日本都市史』,東京大学出版会． |
| ⑦ | 鎌田道隆 | 2000 | （専）『近世京都の都市と民衆』,思文閣出版．  |
| ⑧ | 杉森哲也 | 2008 | （専）『近世京都の都市と社会』,東京大学出版会．  |
| ⑨ | 矢守一彦 | 1974 | （概）『都市図の歴史　日本編』,講談社． |
| ⑩ | 金田章裕ほか | 2007 | （概）『地図出版の四百年』,ナカニシヤ出版． |
| ⑪ | 金田章裕ほか | 2012 | （概）『日本地図史』,吉川弘文館． |
| ⑫ | 矢守一彦 | 1970 | （専）『都市プランの研究』,大明堂． |
| ⑬ | 矢守一彦 | 1988 | （概）『城下町のかたち』,筑摩書房 |
| ⑭ | 松本四郎 | 2013 | （概）『城下町』,吉川弘文館． |
| ⑮ | 京都市編 | 1969 | （概）『京都の歴史　桃山の開花』,學蓺書林． |
| ⑯ | 京都市編 | 1972 | （概）『京都の歴史　近世の展開』,學蓺書林． |
| ⑰ | 京都市編 | 1973 | （概）『京都の歴史　伝統の定着』,學蓺書林． |
| ⑱ | 京都市編 | 1974 | （概）『京都の歴史　維新の激動』,學蓺書林． |

（注）　上記（概）は記述内容が概説、概論的レベルであることを、（専）は記述内容が学術的専門レベルであることを示す。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者・編者 | 刊行年 | 文献名など |
| ① | 国史大辞典編集委員会 | 1979～1997 | 『國史大辭典』,吉川弘文館． |
| ② | 平凡社地方資料センター編 | 1981 | 『歴史地名大系　福井県の地名』,平凡社． |
| ③ | 平凡社地方資料センター編 | 2002 | 『歴史地名大系　東京都の地名』,平凡社． |
| ④ | 平凡社地方資料センター編 | 1979 | 『歴史地名大系　京都市の地名』,平凡社． |
| ⑤ | 角川日本地名大辞典編纂委員会編 | 1988 | 『東京都地名大辞典』,角川書店． |
| ⑥ | 角川日本地名大辞典編纂委員会編 | 1982 | 『京都府地名大辞典（上）』,角川書店． |
| ⑦ | 角川日本地名大辞典編纂委員会編 | 1989 | 『福井県地名大辞典』,角川書店． |
| ⑧ | 足利健亮編 | 1994 | 『京都歴史アトラス』,中央公論社． |
| ⑨ | 山本正三ほか編 | 2012 | 『人文地理学辞典』,朝倉書店． |
|  | 人文地理学会編 | 2013 | 『人文理理学事典』,丸善出版． |

※学術論文は、授業内で適宜指示します。